

OAP ARTCOURT 1F 1-8-5 Tenmabashi Kita-ku Osaka 5300042 JAPAN

◎ ACGプレスリリース

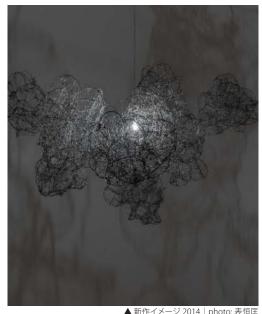
平成25年度 第31回 「咲くやこの花賞」 受賞記念展

「咲くやこの花コレクション 大西康明展 空洞の彫刻」展覧会開催のご案内

この度アートコートギャラリーでは、平成25年度・第31回「咲くやこの花賞」受賞記念展 として『咲くやこの花コレクション 大西康明展 空洞の彫刻』を開催いたします。

空洞を彫刻する — 大西康明は、内側のない空洞や余白と呼ばれる「ネガ」の空間を、 体積・垂直・距離といったシンプルなテーマで視覚化させる彫刻作品を制作。接着剤 やポリシートなどの形態を定めにくい素材を用いて、人為と自然との境界にある形を 繊細な感覚でトレースする注目のアーティストです。巨大な山陵や氷河洞、風に波立 つ大海原、星雲のシルエットなど、人知を超えた領界を暗示させるインスタレーション でも高く評価され、国内外での展覧会やアーティスト・イン・レジデンスを重ねて幅広く 活躍しています。

―― かつて何かが存在していたことや、これから何かが入り込むことが想像で きる"不在の空間"を作り出すこと。鑑賞者はその空間を意識して、内と外、表と裏、 ネガとポジのような、相反しながらも見方によってはどちらにも解釈できる事象を身 体的に体験し、それぞれの想像力を膨らませ、思考を働かせられる場を作品として 提示する。(大西康明)



タイマーで制御した小型ファンの気流で円筒形の袋が垂直方向に膨らんだり萎んだり...。ポリシートが見せる有機的な動きで「虚を見て虚を 得る」感覚を観る者に与える《Untitled》(2009、右下写真参照)は、大西自身が空気や空洞に対して「体積」を見出し、後の代表作《体積の裏側》 につながった重要なキーとなる作品です。また、グルーガンを絵筆のように使い接着剤を塗り込めた表面を熱で溶かし、金属粉を擦り混ぜ た板状の作品《exchange of surface》について、大西は「行為と現象を重ねて堆積させた痕跡」と語ります。

目に見えないものを明らかにする素材を選び取り、行為・現象・時間を構成要素に空間ヘアプローチしていく表現作法で、大西は空間に 曖昧な輪郭を与えていきます。浮遊するやわらかな光の階調と陰影に満たされながら、空間を占有していくその造形は、観る者の無量無辺 の想像力や思考をため込む美の器とも言えるでしょう。

本展では、光と重力を使って、内側をつくることから実体のない外側の創出を試みる新作を発表する他、初期作品である《ガワ(環)》、 《Untitled》、《exchange of surface》など、「空洞を彫刻する」大西の造形表現の数々をご紹介します。

【展覧会概要】

展覧会タイトル: 咲くやこの花コレクション 大西康明展 空洞の彫刻

Yasuaki Onishi: empty sculpture

会 期: 2014年11月8日[土] ~11月29日[土] *日・月・祝休

会場: アートコートギャラリー(大阪市北区天満橋1-8-5 OAPアートコート1F)

開廊時間: 11:00~19:00 *土は、11:00~17:00

◆イベント: 11月8日[土] 14:30~17:00

14:30~16:00 対談[金井直(信州大学人文学部准教授)×大西康明]

16:00~17:00 レセプションパーティ

主催: 咲くやこの花賞受賞者等支援事業実行委員会

[構成団体] 大阪市、大阪商工会議所、大阪観光局・公益財団法人大阪観光コンベンション協会、 大阪市中央公会堂指定管理者サントリーパブリシティサービスグループ

アートコートギャラリー(株式会社八木アートマネジメント)

協賛:三菱地所株式会社、三菱マテリアル株式会社、三菱地所プロパティマネジメント株式会社



▲《Untitled》 2009

【プレビューのご案内】

日時: 2014年11月7日[金] 17:30~19:00 内容: プレビュー(作家による作品解説あり)

※ご参加申込は、11月4日[火]までにアートコートギャラリー

◎ ACGプレスリリース

平成25年度 第31回 「咲くやこの花賞」 受賞記念展

「咲くやこの花コレクション 大西康明展 空洞の彫刻」展覧会開催のご案内

【作家略歷】

大西 康明 Yasuaki Onishi

1979 大阪市出身

2001 筑波大学芸術専門学群美術専攻卒業

2004 京都市立芸術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了

|主な受賞|

2014 平成25年度 第31回咲くやこの花賞

2012 メディア芸術クリエイター育成支援事業

2011 ポーラ美術振興財団在外研修員としてイギリスにて研修

2010 Vermont Studio Center U.S. Japan Foundation Fellowship The Pollock-Krasner Foundation

2007 第1回秀桜基金留学賞 第10回岡本太郎現代芸術賞展/太郎賞

2006 文化庁メディア芸術祭 アート部門 審査委員会推薦作品

| 主な個展 |

2014 vertical emptiness (GALLERY OUT of PLACE TOKIO, 東京)

2013 reverse of volume (JOICE GALLERY, 北京, 中国)

2012 inner space (Wilfrid Israel Museum, Hazorea, イスラエル) reverse of volume (Rice Gallery, Houston, USA)

2011 体積の裏側(愛知県美術館,名古屋)

2010 reverse of volume (Vermont Studio Center Red Mill Gallery, Johnson, USA) horizontal forest (Not Quite Gallery, Fengersfors, スウェーデン) ridge of boundary (para_SITE Gallery, Graz, オーストリア) reverse of volume (KINOKINO Centre for Art and Film/Sandnes. ノルウェー)

2008 mountair (KONGSI, Enschede, オランダ)
dairy distance (Sølyst Artists in Residence Centre, Jyderup,デンマーク)

2007 表裏の隙間 (PANTALOON, 大阪) inner skin (neutron, 京都)

2005 呼吸星雲 (INAX GALLERY 2, 東京)

| 主なグループ展 |

2014 Maison & Objet Trend Exhibition -Landscape (Paris Nord VillepinteHALL 7, Paris, フランス) 想像しなおし (福岡市美術館, 福岡)

2013 The Mine -Launch Event (The Mine, Dubai, アラブ首長国連邦)
Mono No Aware. Japanese Contemporary Art
(エルミタージュ美術館, St. Petersburg, ロシア)
HANARART 2013 (郡山城下町エリア 堺町ゾーン, 大和郡山)
六甲ミーツ・アート 芸術散歩 2013 (六甲オルゴールミュージアム他, 神戸)
dreamscape ーうたかたの扉(京都芸術センター, 京都)

2012 agorà -Miniartextil (Villa Olmo, Como, イタリア)

2011 世界制作の方法(国立国際美術館, 大阪)
Japan Media Arts Festival
(Hartware MedienKunst Verein Dortmunder U, Dordmund, ドイツ)

2010 The Transforming State (Religare Arts Initiative, Delhi , インド) Art Court Frontier #8(アートコートギャラリー, 大阪)

2009 Against The Sculptural (Seoul Museum of Art, ソウル, 韓国) HOME (国際芸術センター青森ACAC, 青森) Residency Project Part2 (Kala Gallery, Berkeley, USA) SU:MBISORI (Jeju Museum of Art, 済州, 韓国)

2008 point éphémère (Bunkamura Gallery, 東京) 大開眼界 Eyes Curiosity -Japanee Contemporary Art (Soka Contemporary Space, 台北, 台湾)

2007 新進アーティストの発見 in あいち(愛知芸術文化センター, 名古屋)

2006 気配をけして piano, piano(大阪築港赤レンガ倉庫, 大阪)

2005 京都府美術工芸新鋭選抜展(京都市美術館,京都)

2004 とよた美術展 '04 (豊田市美術館, 豊田)

他、個展、グループ展、アーティスト・イン・レジデンス 多数



▲ 《reverse of volume RG》 2012, Rice Gallery, Houston, USA | photo: Nash Baker

◎大阪市「咲くやこの花賞」・「咲くやこの花コレクション」とは

昭和58年度から将来の大阪文化を担うべき若手芸術家に 大阪市が贈呈している「咲くやこの花賞」。

「美術」「音楽」「演劇・舞踊」「大衆芸能」「文芸その他」の5部門におけるこれまでの受賞者は150組を超え、日本はもとより海外でも活躍されています。

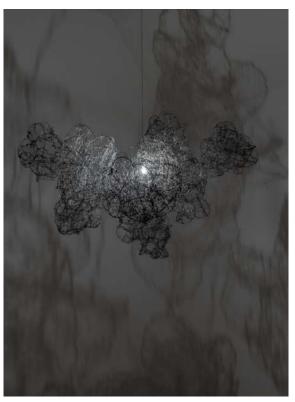
大阪の貴重な人的資産である「咲くやこの花賞」受賞者の魅力に触れていただくため、年に数回、発表の場として「咲くやこの花コレクション」を開催しています。



◎ ACGプレスリリース 平成25年度 第31回「咲くやこの花賞」 受賞記念展

「咲くやこの花コレクション 大西康明展 空洞の彫刻」展覧会開催のご案内

【ビジュアル資料】 -





▲ 《Untitled》 2009 | ポリシート、ファン、他 | 400×660×960 cm (インスタレーション)

▲ 新作イメージ 2014 | photo: 表恒匡



▲ 《exchange of surface GOoP#2》 2014 | 接着剤、グラファイト、パネル | 91×91×3 cm



▲ 《ガワ(環)2》2002 | 鉄 | 50×120×120 cm | photo: 表恒匡